

# みんなので楽しく散歩

## 成東町と東金市を巡る

第6回  
ふれあいウォーク



当時のまま残されている伊藤左千夫の生家を見学する参加者

秋晴れの10月24日、第6回ふれあいウォークが開催されました。このふれあいウォークは「誰とでも気軽に楽しく運動できるように、そして体力づくりの向上」を目的として春は町内、秋は町外を散策しています。今回は、成東町と東金市を巡る約8kmのコースで、75名が参加しました。

最初の目的地は、成東町にある歴史民俗資料館と伊藤左千夫の生家でした。

歴史民俗資料館には、江戸時代から明治・現在にいたる農耕、養蚕、漁撈用具類や生活用具などの民俗資料と考古資料等が、数多く展示されていました。

また、「野菊の墓」で有名な伊藤左千夫の生家は、わらぶき屋根の母屋、土蔵、茶屋が当時のまま現在も残っていて、家の



秋の深まりを感じさせる食虫植物園

中まで入れるようになっていました。「天井がすごく高いね。僕の家と比べものにならないや」「わらぶき屋根って横芝にはいくつあるのかな」など、子どもたちはとても珍しそうに見学していました。

次の目的地は自然の中に生えている植物を見学する食虫植物園。ここでは、町文化財審議会長伊東達雄さんやボランティアの方々が同園の植物について説明してくれました。小モウセン、トリモチ草、山ラッキョウは、とても小さくて見つけるのが困難だそうです。また、この時期は、ちょうど秋の七草の一つ、ききょうが満開になっていて辺り一面紫色のじゅうたんのようでした。

最後の散策地城西国際大学は、2年前に開校したばかりなので、